# 東御市議会第１回定例会

市議会第１回定例議会が６月２日から25日まで行われました。東御市初の定例議会での市長施政方針演説の要約をお知らせします。

県下18番目の東御市が、昭和36年４月の佐久市発足以来、43年ぶりに長野県に誕生してから、２ヵ月が経過しました。

本議会は、市長選挙後、最初の定例会です。地方自治は住民のためのものであり、市民の市政参画のもと、お寄せいただいた信頼と期待にお応えすべく、新たな情熱と決意をもって努めてまいります。

さて、市長選挙をとおして、私は「五つの安心」のお約束をいたしました。今後の市政運営のなかで、可能なことから順次実施したいと考えております。

地方行政におきましては、いわゆる「三位一体改革」の名の下に、引き続き厳しい行財政運営を迫られています。そこで合併によるスケールメリットを最大限に生かし、将来にわたって強い行財政の基盤の確立が重要です。

こうしたなか、平成16年度は、東御市発足の初年度であり、合併協議の中で策定した基本構想『さわやかな風と出会いの元気発信都市』の実現に向け、五つの重点施策を掲げ市政運営を進めます。（市報とうみ８月号に掲載予定です）

一般質問での市長答弁のようす。一般質問は20人、合計50にも及ぶ質問事項が出され、そのやりとりは３日間にも及んだ。

## 一般会計は148億円

平成16年度の一般会計・特別会計予算の総額は、246億623万円です。また、企業会計予算の総額は24億4560万円です。

一般会計予算の総額は148億200万円です。合併初年度として合併協議や新市まちづくり計画に沿った事業と両町村の今までの継続事業が主なものです。

合併関連事業は、合併補助金事業として、電算システムの統合事業と都市計画策定事業の２事業を実施するほか、合併特例交付金事業として、移動図書館車の購入、花と緑のまちづくり事業の２事業を実施します。

なお、合併特例事業は、和コミュニティーセンター建設事業、公共サイン事業、たなか街並み景観整備事業と市道改良等の７事業を実施します。

### 歳　出

歳出の主なものとして、議会費・総務費関係では、合併に伴う電算システムの修正委託料、新市発足記念事業費、新市となり独自の職員退職手当基金を創設しその基金への積立金の計上のほか、市議会議員選挙の経費などです。

次に、民生費及び衛生費関係では、平成15年度から制度化された身体・知的障害者支援費、市となり福祉事務所の設置による生活保護費（従来は県が支出）を新たに予算計上しました。また、住民の健康管理の推進として検診事業の充実を図ります。

次に、農林水産費、商工、土木費関係では、土地改良事業や農道の整備、更に農業環境整備を図るための予算を計上しました。現在の厳しい経済状況の中、中小企業制度資金等の助成も引き続き行っていきます。

また、新市のメインストリートとなる田中商店街の街路事業について、電柱のセットバック事業と合わせ引き続き実施します。

このほか、景観に配慮しながら新市のイメージアップを図るとともに、来訪者に円滑な誘導と地域の情報提供ができるように統一した公共サイン設置事業を予算化しました。

また、地方道路整備臨時交付金事業として、市役所前の道路に歩道を設置するための事業を本年度着手します。

次に、教育関係では、学校における情報教育を推進するため、小学校の普通教室にパソコン・プロジェクターを順次整備します。また、祢津小学校の大規模改造、田中小学校の体育館改築の準備を進めるため、それぞれ予算計上しました。

このほか、和地区から要望の強い和コミュニティーセンターの建設事業、西海野地区のマレットゴルフ場建設に向けての設計費を計上しました。

### 歳　入

歳入の１位を占める地方交付税は、三位一体の改革、福祉事務所の設置に伴う生活保護費の増加、合併に伴う合併補正等を勘案しまして、39億２千万円を計上しました。

なお、地方交付税の減額分は臨時財政対策債で補うとの国の基本的な方針を受け、いわゆる赤字地方債を16年度も５億９千600万円計上した予算です。

また市税収入の総額は、36億２千280万円ほどですが、15年度の未収分５千272万円が含まれていますので、前年度当初予算対比３千709万円、１・０％の増となっています。（15年度実績による見込み）

また、地方債は、平成７年度、８年度の減税補てん債の借換債４億７千370万円や合併特例債３億３千200万円を見込んでいます。

このほか、諸収入が高額となっていますが、新市誕生により繰越金を諸収入に予算化したためで、旧町村の繰越金8億6千871万円と県町村事務組合脱退にともなう返還金6億8千533万円を含んでいます。

なお、本年度は、三位一体の改革により国・県の補助金の減少等が見込まれますが、当市は基金から多額の繰入金をすることなく、当初予算を編成することができました。

### 特別会計ほか

特別会計は、あわせて13会計です。予算の総額は98億423万円でそのうち公営企業会計予算の総額は10億３千400万円、市民病院事業会計の予算総額14億１千160万円です。

次に、土地開発公社に対する債務保証ですが、市の債務保証限度額は、63億円となっています。また、浅間山麓総合開発株式会社の損失補償にかかる債務負担行為額を、6億7千700万円を限度として予算計上したところです。

### 条例議案

市条例のほとんどは、４月１日から市長職務執行者において専決処分をし、先の臨時会で承認されました。

今定例会では、『市長の資産等の公開に関する条例』を新たに制定するほか、一部条例改正と暫定施行しておりました条例を廃止する条例などの５件です。

※一般質問などの詳しい内容は議会だよりで後日お知らせします。

# 東御市区長会長に別府基規さん
## 選挙管理委員長には春原　茂さん

５月19日に行われた東御市地区区長会長会において、別府基規さんが東御市区長会長として互選されました。また、市副区長会長は左記のとおりとなりました。（敬称略）

別府　基規（西宮）

市区長会長
別府　基規（西宮）
市副区長会長
今泉　正毅（城の前）
市副区長会長
高藤　征紀（原口）
市副区長会長
小泉喜與成（田沢）
市副区長会長
山浦　康紀（御牧原北部）

市選挙管理委員会は、６月２日に開いた委員会において、委員長の選出と委員長の推薦が行われ、左記のとおりに決まりました。なお、任期は平成20年５月17日までです。（敬称略）

春原　茂（新屋）

委員長
春原　茂（新屋）
委員長代理
寺島　國男（桜井）
委　員
月野　文枝（県）
鳥居　由蔵（下八重原西）

## 公民館長に今泉正毅さん

今泉　正毅（城ノ前）

６月９日に行われた教育委員会において今泉正毅さんが中央公民館長に任命されました。